

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
衛生管理 I		美容学科/1年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	井川泉(実務経験あり)
授業の概要				
美容所における施設、設備、器具など衛生的管理及び消毒並びに従業者の健康管理の措置により、美容に関する衛生の向上及び確保を図ることを学ぶ。				
【実務経験】井川 泉:美容師として13年の実務経験 美容所での衛生管理の必要性を学習を通して指導する				
授業終了時の到達目標				
美容師国家資格合格				
回	テーマ	内容		
1	公衆衛生の概要	公衆衛生の意義と課題		
2	公衆衛生の発展と歴史	欧米の公衆衛生の歩み 我が国の公衆衛生の歩み		
3	理容師・美容師と公衆衛生 保健所と理容業・美容業	歴史の中の理容師・美容師と公衆衛生 公衆衛生と理容師・美容師		
4~ 6	保健	母子保健 成人保健 精神保健		
7	環境衛生の概要	環境衛生の内容 環境衛生の目的と意義 環境衛生活動		
8	環境衛生の概要	環境衛生の内容 環境衛生の目的と意義 環境衛生活動		
9	空気・水・日光	空気と健康 温度・湿度・気流(風)と健康		
10	空気・水・日光	水と健康 日光と健康 気候と健康		
11	衣食住と健康	衣服の衛生 食品の衛生 住居の衛生		
12	上下水道と廃棄物	上水道 下水道 廃棄物		
13	衛生害虫とネズミ 公害と環境保全	衛生害虫 ネズミ 水質汚濁		
14	理容所・美容所の衛生管理 衛生的取扱い	自主的管理 施設と設備 施設、設備、器具の管理 従業員の管理 従業員の心得		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
衛生管理		期末試験 授業態度	80.0% 20.0%	【準備学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保健 I		美容学科/1年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	足立 眞一(実務経験あり)
授業の概要				
人体の構造、機能を全体的に学び理解を深める 【実務経験】 足立眞一：薬剤師として46年の実務経験 薬剤師、臨床検査技師の経験を活かし、人体の構造を理解させる。				
授業終了時の到達目標				
格器官の構造及び、機能を学び、それぞれの器官と関連付けて理解する				
回	テーマ	内容		
1	導入、人体各部の名称	自己紹介、概要説明、人体各部の名称		
2	人体各部の名称	頭部、頸部の体表解剖		
3	細胞と体液	血液のあらまし、構成、成分、役割		
4	骨格器	骨の構成、役割、上肢、下肢骨など		
5	筋系	筋肉の種類と役割		
6	神経系	神経の種類と役割、脳、せき髄		
7	感覚器系	眼、耳、鼻、口		
8	循環器系	心臓の働き、血液の流れ		
9	呼吸器	器官、気管支、肺、構造と役割		
10~11	消化器	口、食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、構造と役割		
12~13	泌尿器	腎臓、膀胱、構造と役割		
14	期末試験	期末試験		
15	期末試験解答と解説	解答と解説		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
保健		期末試験	100.0%	【準備学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
化粧品化学 I		美容学科/1年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	大南 朋子
授業の概要				
美容師の業務を行う上で必要な化粧品学の基礎知識について学習する 化粧品化学が美容技術において基盤となることを理解する 過去問を利用し、美容師国家試験対策を行う				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験に対応できる知識を身につける 美容国家試験合格				
回	テーマ	内容		
1	導入～授業の概要説明 1章 化粧品概論 1節 化粧品の社会的意義と品質特性	導入 化粧品の社会的意義と品質、必要条件について		
2	1章 化粧品概論 2節 化粧品の規制 3節 化粧品の安定性と取扱い上の注意	化粧品の定義、製造販売の規制、品質等の規制、表示広告の規制について 化粧品の安定性、経時変化、使用上、取扱い上の注意について		
3	1章 化粧品概論 4節 化粧品と安全性 2章 化粧品用原料 1節 化粧品の対象となる人体各部の性状	化粧品と安全性、表示成分と安全性、化粧品によるトラブルについて 化粧品の種類と昨日、皮膚と水、頭皮や毛髪の状態、爪の性状、まぶたや口唇の性状、化粧品のなりたちについて		
4	2章 化粧品用原料 2節 水性原料 3節 油性原料	水性原料である、水、エタノール(エチルアルコール)について 油性原料である、油脂、ロウ類、炭化水素、その他の油性原料、油性原料の機能について		
5	2章 化粧品用原料 4節 界面活性剤	界面活性剤の基本的性質、種類、化粧品への応用について		
6	2章 化粧品用原料 5節 高分子化合物 6節 色材	高分子化合物の種類と特性、化粧品への応用について 色材と化粧品、無機顔料、有機合成色素(タール色素)、光輝性顔料(パール顔料)、天然色素について		
7	2章 化粧品用原料 7節 香料 8節 その他の配合成分	香料と化粧品、香料の種類、調合香料について 化粧品原料の品質保持に用いられる配合成分、化粧品配合成分があたえる機能、その他の特殊成分について		
8	2章 化粧品用原料 9節 ネイル、まつ毛エクステンション用材料 3章 基礎化粧品 1節 皮膚清浄用化粧品	合成樹脂、接着剤、塗料について 皮膚の汚れと性状作用、石けんの種類とその性質、その他の清浄剤について		
9	3章 基礎化粧品 2節 化粧水 3節 クリーム・乳液	化粧水の種類と機能性について クリーム・乳液の皮膚への作用、クリームの種類と機能、乳液の種類と機能について		

回	テーマ	内 容		
10	3章 基礎化粧品 4節 その他の基礎化粧品 4章 メイクアップ用化粧品 1節 メイクアップ化粧品の種類と剤形 2節 ベースメイクアップ化粧品	シェ、ービング用化粧品（理容）、化粧液（美容液、美容エッセンス）、打粉（ベビーパウダー）類、パック剤について メイクアップ化粧品の種類と剤形について ベースメイクアップ化粧品、おしろい（白粉）類、ファンデーション類について		
11	4章 メイクアップ用化粧品 3節 ポイントメイクアップ化粧品 5章 頭皮・毛髪用化粧品 1節 シャンプー剤	ポイントメイクアップ化粧品の紅類、アイメイクアップ化粧品、ネイル技術用化粧品類（マニキュア製品）について シャンプー剤について		
12	5章 頭皮・毛髪用化粧品 1節 シャンプー剤 2 ヘアリンス剤 2節 スタイリング剤	ヘアリンス剤、ヘアトリートメント剤について スタイリング剤の機能、油性スタイリング剤、液状スタイリング剤、高分子物質を基材とするスタイリング剤について		
13	5章 頭皮・毛髪用化粧品 3節 パーマ剤	パーマ剤の原理、分類、パーマ剤第1剤、パーマ剤第2剤、パーマ剤の使用上の注意について		
14	5章 頭皮・毛髪用化粧品 4節 ヘアカラー製品 5節 育毛剤	ヘアカラー製品の種類と染毛メカニズム、一時染毛料、半永久染毛料、脱色剤・脱線剤、永久染毛剤、ヘアカラー製品の使用上の注意、その他のヘアカラー製品について 脱毛の原因、育毛剤の種類と機能、育毛・養毛剤の原料について		
15	6章 芳香製品と特殊化粧品 1節 芳香製品 2節 特殊化粧品	香水、オーデコロン、その他の芳香製品、芳香製品の効用と使用上の注意について サンケア製品、美白用化粧品、制汗・防臭剤、ニキビ用化粧品について		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日本理容美容教育センター 化粧品化学		期末試験	100.0%	・主体的に授業参加し学習する。 【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて教科書・

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
文化論		美容学科/1年	2020/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	井川泉(実務経験あり)
授業の概要				
日本の文化史 世界の文化史 ファッションの造形 礼装				
【実務経験】井川 泉:美容師として13年の実務経験 美容師として経験したヘアスタイルを伝え美容の歴史の変遷を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
ヘアスタイルが独立して存在するのではなく服装等とのトータルバランスが不可欠であり時代の波の中でどのように変換して来たかを学ぶことで時代とファッションのかかわりを知る。また、ファッションの造形、色彩の原理などを学び感性を高め来べき時代の要請にこたえられるデザイナーになる				
回	テーマ	内 容		
1	総論 日本の美容業の歴史	総論 美容業の発生		
2	日本の美容業の歴史	江戸時代の美容業		
3	日本の美容業の歴史	近代の美容業		
4	日本の美容業の歴史	現代の美容業		
5	ファッション文化史 日本編	縄文・弥生・古墳時代		
6	ファッション文化史 日本編	古代(飛鳥・奈良・平安)		
7	ファッション文化史 日本編	中世(平安末・鎌倉・室町・戦国時代)		
8	ファッション文化史 日本編	近世Ⅰ(戦国末・安土桃山時代)		
9	ファッション文化史 日本編	近世Ⅱ(江戸時代)		
10	ファッション文化史 日本編	近代(明治・大正・昭和20年まで)		
11	ファッション文化史 日本編	現代Ⅰ(1945年~1950年代)		
12	ファッション文化史 日本編	現代Ⅱ(1960年~1970年代)		
13	ファッション文化史 日本編	現代Ⅲ(1980年~1990年代)		
14	ファッション文化史 日本編	現代Ⅳ(2000年代以降)		
15	ファッション文化史 西洋編	古代エジプト 古代ギリシャ		
16	ファッション文化史 西洋編	古代ゲルマン 中世ヨーロッパ		

回	テーマ	内 容		
17	ファッション文化史 西洋編	近世Ⅰ（16世紀） 近世Ⅱ（17世紀）		
18	ファッション文化史 西洋編	近世Ⅲ（18世紀） 近代Ⅰ（18世紀末～19世紀初め）		
19	ファッション文化史 西洋編	近代Ⅱ（19世紀） 現代Ⅰ（1910年代～1920年代）		
20	ファッション文化史 西洋編	現代Ⅱ（1930年代～1940年前半） 現代Ⅲ（1940年後半～1950年代）		
21	ファッション文化史 西洋編	現代Ⅳ（1960年代） 現代Ⅴ（1970年代）		
22	ファッション文化史 西洋編	現代Ⅵ（1980年代） 現代Ⅶ（1990年代～2010年）		
23～ 24	礼装の種類	和装の礼装		
25～ 26	礼装の種類	洋装の礼装		
27	期末試験	期末試験		
28～ 30	期末試験解答解説	期末試験解答と解説		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
文化論		期末試験 授業態度 課題・レポート	50.0% 20.0% 30.0%	【準備学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容技術理論 I		美容学科/1年	2020/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	大杉 和人(実務経験あり)
授業の概要				
美容技術を裏付ける基本的理論を習得する 技術理論を把握することにより技術が成り立つことを理解する 美容師試験合格を目指し、過去問題などにより応用力をつける				
【実務経験】 大杉 和人 : 美容師として3年の実務経験 これまでの美容経験を活かし美容理論を理解させる				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験合格				
回	テーマ	内容		
1~ 2	美容技術理論を学ぶにあたって	美容理論と美容技術 美容技術に必要な人体各部の名称		
3~ 5	1章 美容用具	美容技術における用具		
6~ 8	2章 シャンプーイング	シャンプー総論 リンス・コンディショナー・トリートメント		
9~ 10	3章 ヘアデザイン	美容とデザイン		
11~ 14	4章 ヘアカットイング	ヘアカットイングの正しい姿勢 ベーシックなカット技法		
15~ 18	5章 パーマネントウェービング	パーマネントウェーブの理論 パーマネントウェーブ技術		
19~ 24	6章 ヘアセッティング	ヘアシェービング ヘアウェービング		
25~ 30	7章 ヘアカラーリング	ヘアカラーリング概論 染毛のメカニズム		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1		期末試験 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえて教科書・ ノートを用いて予 習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容実習 I		美容学科/1年	2020/通年	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	210回	14単位(420時間)	必須	井川泉(実務経験あり) 森東敬二(実務経験あり) 角山 永代(実務経験あり)
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・美容師国家試験に向けての技術と理論を習得する ・美容技術の基本であるワインディングをマスターする ・美容師試験第一課題の技術をマスターする <p>【実務経験】井川 泉：美容師として13年の実務経験 森東 敬二：美容師として27年の実務経験 角山 永代：美容師として7年の実務経験 美容師としての経験を活かし美容実習に必要な技術を指導する</p>				
授業終了時の到達目標				
・美容師国家試験合格				
回	テーマ	内 容		
1	授業の概要説明 動機づけ	国家試験について 道具の準備。説明		
2~ 8	テーブルセッティング 10ブロックウィッグの扱い方	取扱い 洗い方、梳かし方 手入れの仕方 ブロッキング		
9~ 20	ワインディング	下巻き		
21~ 28	ワインディング	センターブロックのワインディング		
29~ 33	ワインディング	ブロッキング センター バックサイドのワインディング		
34~ 37	ワインディング	ブロッキング センター バックサイド		
38~ 43	ワインディング	全頭50分練習		
44~ 49	ワインディング	全頭40分練習		
50~ 55	ワインディング カット	全頭40分練習 シザーズの開閉		
56~ 61	ワインディング カット	全頭40分練習 ワンレングスカット		
62~ 67	ワインディング カッティング	全頭35分 ワンレングスカット		
68~ 73	ワインディング カッティング	全頭35分 レイヤーカット		
74~ 79	ワインディング カッティング	全頭30分 レイヤーカット		

回	テーマ	内容		
80～ 85	ワインディング カッティング	全頭30分 レイヤーカット		
86～ 89	ワインディング ビューティライブ	ワインディング30分		
90	期末テスト	ワインディング30分全頭		
91～ 98	ワインディング スカルプマッサージ	全頭25分 頭皮マッサージ手順（相モデル）		
99～ 106	ワインディング オールウェーブ	全頭23分 オールウェーブの概要、準備の仕方、		
107 ～ 114	ワインディング オールウェーブ	全頭21分 フィンガーウェーブ		
115 ～ 122	ワインディング オールウェーブ	全頭20分 フィンガーウェーブ		
123 ～ 130	ワインディング オールウェーブ	全頭20分 フィンガーウェーブ、ピンカール		
131 ～ 138	ワインディング オールウェーブセッティング	全頭20分 ピンカール		
139 ～ 146	カラーリング オールウェーブ	カラーリング塗布練習 ピンカール		
147 ～ 154	ワインディング オールウェーブ	タイム短縮 ピンカール		
155 ～ 162	ワインディング オールウェーブ	全頭20分 国家試験課題7段構成		
163 ～ 208	ワインディング オールウェーブ シャンプーレッスン（個別）	全頭20分 国家試験課題7段構成 シャンプーの手順		
209	期末試験	ワインディング		
210	期末試験	オールウェーブ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益社団法人理容美容教育センター 美容技術理論1、美容実習1		期末試験 授業態度	80.0% 20.0%	【準備学習】前回の 実習を反復練習 をしておくこと

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
エステティック技術		美容学科/1年	2020/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	石黒 なつみ(実務経験有)
授業の概要				
<p>・エステティック(フェイシャル・ボディ)の基礎知識、技術</p> <p>【実務経験】石黒 なつみ: セラピストとして1年半勤務経験 現場における接客の流れ、技術を指導</p>				
授業終了時の到達目標				
エステティックを通して、お客さまへの心配りを常日頃から意識して行動できるようになる。				
回	テーマ	内 容		
1	授業概要	自己紹介、授業概要説明		
2	エステティック概論 お客さまを迎えるまで	エステティック概論 立ち居振る舞い、マナー、姿勢 ベッドメイキング・準備		
3~ 4	フェイシャルクレンジング①-1	皮膚科学 ポイントクレンジング ベースクレンジング スポンジ、タオルふき取り		
5~ 6	フェイシャルクレンジング②-1	クレンジング スチーマー→吸引 スポンジふき取り		
7~ 8	フェイシャルクレンジング③-1 デコルテマッサージ①-1	クレンジング(20分) マッサージ理論 デコルテオイル塗布~マッサージ		
9~ 10	フェイシャルクレンジング デコルテ・フェイシャルマッサージ ①-1	クレンジング(15分) デコルテ・フェイシャルマッサージ		
11~ 12	フェイシャルクレンジング デコルテ・フェイシャルマッサージ ②-1	クレンジング(15分) デコルテ・フェイシャルマッサージ		
13~ 14	フェイシャルクレンジング デコルテ・フェイシャルマッサージ ③-1	ベッドメイキング、お迎え クレンジング&マッサージ、お仕上げ		
15~ 16	確認テスト	ベッドメイク~片付けまで		
17~ 18	フットマッサージ①	フットマッサージ		
19~ 20	フットマッサージ②	フットマッサージ		
21	ハンドマッサージ	ハンドマッサージ		
22	カウンセリング	セルフカウンセリング		

回	テ ー マ	内 容		
23～ 24	フェイシャルケア① ハンド&フット	フェイシャルケア ハンド&フット（パック中にフット、起こしてハンド）		
25～ 26	フェイシャルケア② ハンド&フット	フェイシャルケア（吸引・パックあり） ハンド&フット		
27～ 28	期末試験 練習	準備～片付けまで お迎え、お見送り含む。		
29～ 30	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論 2 美容実習 2		出席率 授業態度 期末試験	10.0% 40.0% 50.0%	【準備学習】テキストを読み動きの復讐をする。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ネイリスト実習		美容学科/1年	2020/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	尾形香代(実務経験あり)
授業の概要				
ネイリスト技能検定3級に必要な技能及び知識を習得させる (サロンワークで通用するマナー・ネイルケアの技能及び知識) 【実務経験】 尾形香代: ネイリストとして18年の実務経験 ネイリストとして衛生的、かつ正確な技術を指導する				
授業終了時の到達目標				
ネイリスト技能検定3級の取得				
回	テーマ	内容		
1~3	導入	教材説明 爪の構造などネイルに関する理論		
4	ネイルケアの仕方と注意点 デモンストレーション	消毒管理・テーブルセッティング、カラーオフ、ファイル、ガーゼクリーン、カラーリング、アートのデモンストレーション		
5~14	ネイルケア実習	相モデルでのネイルケア実習(デモンストレーションを含む)		
15~16	ネイリスト技能検定試験3級の説明	試験要項の説明、手順、デモンストレーション		
17~27	試験内容の実習	相モデルでのネイルケア・カラーリング・アートまで		
28~30	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
テクニカルテキスト ベーシック		出席率 授業態度 実習・実技評価 期末試験	10.0% 30.0% 30.0% 30.0%	【準備学習】テキストをしっかりと読み反復練習を行う

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
接客マナー		美容学科/1年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	南 敦子
授業の概要				
1. ビューティコーディネーターとは何かを理解する 2. 真のホスピタリティとは何かを理解し、実践するために必要な知識、技術を学ぶ (基本動作、敬語、電話対応など)				
授業終了時の到達目標				
1. ビューティ・コーディネーター検定3級取得 2. 美容師(ビューティ・コーディネーター)としてサロンマネジメントに必要なマナー・知識を習得する				
回	テーマ	内容		
1	ビューティコーディネーターとはBCの役割と能力、BCキャリアプラン	ビューティコーディネーターとは何か(検定内容説明)求められる役割と能力、キャリアプラン		
2	サロンにおけるビジネスキャリア	職業意識、サロンの勤務、仕事への取り組み方、顧客志向の姿勢		
3	ホスピタリティを発揮するビジネスコミュニケーション	ホスピタリティとは言葉によらないコミュニケーション		
4	サロン内のコミュニケーション	スタッフ間のコミュニケーション、就業中のマナー、指示の受け方と報告の仕方、会議への参加		
5	接客の基本と電話の受け方・かけ方	印象のよい聴き方と話し方 敬語表現と正しい言葉遣い		
6	接客の基本と電話の受け方・かけ方	敬語練習問題		
7	接客の基本と電話の受け方・かけ方	接客の基本 電話対応の基本		
8	接客の基本と電話の受け方・かけ方	電話の受け方・かけ方 名刺交換の仕方		
9	サロンのメディア活用	パソコンの活用、電子メールの書き方 表とグラフの読み方、ホームページと情報の管理		
10	生産性を高めるフロアマネジメント	BCの1日、店舗内のクリーンリネス 顧客管理とスタイリストの連携、お客様の誘導		
11	生産性を高めるフロアマネジメント	受付・接客時の言葉遣い、施術中のお客さまへの対応 会計業務と次回予約、店販品の販促、アフターカウンセリング		
12	「美意識」コーディネートする	おしゃれをするには、トレンドを理解するには アドバイスするための分析		
13	ファッションを理解する	生き方、年齢などによるファッション、ファッションの歴史、 日本のトレンド、オリジナリティある提案		
14	BC検定対策問題	BC検定過去問題		
15	期末テスト BC検定対策問題	期末テスト BC検定過去問題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ビューティ・コーディネーター検定3級認定テキスト<改訂新版>		出席率 授業態度 課題・レポート 期末試験	10.0% 20.0% 10.0% 60.0%	【準備学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
色彩学		美容学科/1年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	南 敦子
授業の概要				
1. 色の働きと知識を習得する 2. ファッションにおける色彩の基礎知識を習得する 3. インテリアにおける色彩の基礎知識を習得する				
授業終了時の到達目標				
1. 色彩検定3級取得 2. 色彩を効果的に使えるようになる				
回	テーマ	内容		
1	色彩を学ぶ意義 色の働き、光と色	色の様々な働きについて理解する 光とは何か(電磁波・波長)		
2	光と色	光とは何か(可視光、可視範囲、スペクトル、分光分布、分光反射率曲線、光の性質と色(反射、透過、吸収、屈折、干渉、回折、散乱))		
3	光と色	眼のしくみ(眼の構造、網膜、視細胞) 照明と色の見え方		
4	光と色	混色(加法混色、減法混色、応用例)		
5	色の表示	色の分類と三属性 純色、清色、中間色		
6	色の表示	PCCS(色相、明度、彩度、色立体、トーン、色の表示方法) 言葉による色表示		
7	色彩心理	色の心理的効果、色の視覚的効果、色の知覚的効果		
8	色彩調和	配色の基本的な考え方 色相・トーンから配色を考える		
9	色彩調和 色彩構成	配色の基本的な技法 色彩と構成		
10	色彩と生活 ファッション	生活環境と色彩 ファッションと色彩		
11	インテリア 練習問題	インテリアと色彩 色彩検定練習問題		
12	色彩検定対策	色彩検定練習問題		
13~ 14	色彩検定対策	色彩検定過去問題		
15	期末試験 色彩検定対策	色彩検定過去問題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
文部科学省後援色彩検定公式テキスト3級		出席率 授業態度 課題・レポート 期末試験	10.0% 20.0% 10.0% 60.0%	【準備学習】次回 の授業内容を踏ま えてテキストを用 いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座 I		美容学科/1年	2020/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	井川 泉
授業の概要				
就職活動も含めながら社会人になるための基礎力を身につける				
授業終了時の到達目標				
1) 3KAN教育(1. 自己効力感 2. 成長実感 3. 学び続ける習慣)により企業が求める人材を育成する 2) 基礎学力、専門知識を将来社会において発揮することができるための汎用的能力の育成 3) 目標を設定し管理することによって、自己成長を実感させ、将来設計ができるようになる				
回	テーマ	内容		
1	動機づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3KAN教育について ・ 動機づけ ・ 担当紹介 ・ 服装身嗜み * 就職の手引き配布 		
2	スケジュール管理/適性検査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就職活動に向けた目標設定を行い、その目標を達成するための計画を立てる ・ 適性検査実施 ・ 就職の手引き説明 就職活動手順フローチャート P1 スケジュール確認 P5 身だしなみ確認 		
3	スラスラ書ける文章術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就職活動に備えたアウトプット中心の訓練 書く、話す、考える文章の「型」を体得する ・ 論理的思考 ・ 考えを掘り下げる (「結論」→「根拠・事実」) ・ 文章の型の例「なたもだ」 		
4	自己分析	就職の手引き P6～P9 自己分析		
5	自己分析	就職の手引き P10～P12 自己分析エゴグラム 過去～未来		
6	ロジカルシンキング	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ものの見方で状況は良くもなり、悪くもなる。だったら、良くなる考え方を マスターして人生がもっと楽しくなる」ためのきっかけにする。 		
7	自己PR作成	就職の手引 P13～P14 自己PR作成(400文字)		
8	企業研究	就職の手引 P19～P24 就職相談室やインターネットを使って研究		

回	テーマ	内 容		
9	読書が楽しくなる読書術(1)	1. 読書の楽しみ方・本の選び方 1) 読書の楽しみ 2) 本の選び方 3) 書店・図書館利用法 2. 読書の活かし方 読んだだけで終わらない読書法 マスターして人生がもっと楽しくなる」ためのきっかけにする。		
10	自己PR	・自己PR作成上のポイントについて説明 【課題】 自己PRの記入		
11	ホスピタリティマインド 社会人としての心得	・ホスピタリティマインドとは ・日本のもてなし文化について ・身近なシーンでのホスピタリティ ・実践例 ・基本的なビジネスマナー ・会社訪問 ・電話対応 ・メールでのマナー など		
12	履歴書作成	・履歴書の記入の仕方について 【課題】 履歴書の記入		
13	50問50答 自己PR完成 求職票	・50問50答見直し ・自己PR完成 ・求職票の説明と下書き		
14	〃	〃		
15	振り返り	・目標管理シートに基づき、自己の就職活動への準備について振り返る ・今後の活動に向けた新たな目標設定を行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
就職の手引き 手帳		出席率	100.0%	【準備学習】授業内容を踏まえて手引きを確認し、準備をする

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
インターンシップ		美容学科/1年	2020/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	
授業の概要				
<p>県内外のサロン様に協力いただき、現場にて実習を体験させていただく。 学校では学ぶことができないお客様の流れやヘルプの仕事を体験させていただき、1年後の自分の姿をイメージする。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>挨拶、声だしを学ぶ 清掃、片付けをスムーズに行う 報告連絡相談ができるようになる。 自ら依頼をすることで、アポイントメントの取り方を学ぶ</p>				
回	テーマ	内容		
1~15	インターンシップ 現場でまなぶ	報告、連絡、相談を必ずすること 掃除、片付け 接客、挨拶 スタッフとのコミュニケーション		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
無し		実習・実技評価 課題・レポート	80.0% 20.0%	【準備学習】サロン情報を確認する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
メイクアップ		美容学科/1年	2020/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	角山 永代(実務経験あり)

授業の概要

メイク道具・化粧品の基礎知識の理解
正しい使用方法・姿勢

【実務経験】角山 永代：美容師として6年の実務経験
美容師としてサロンワークの中で実践したブライダルメイクなどを指導する

授業終了時の到達目標

決められた時間内にフルメイクができるようになる。
デッサン画を描けるようになる。

回	テーマ	内容
1	導入	教材確認、使用方法、自己紹介
2	デッサン	テーマに合わせて色、デザインを考える
3	道具について	名称、使い方を覚える
4	スキンケア	相モデル、 化粧水～プレストパウダー 手順を覚える
5	アイメイク	アイシャドウ、グラデーション ライトカラー、ミディアムカラー、ダークカラーのグラ デーション
6	アイメイク	アイライン、アイラッシュカーラー、マスカラ
7	チーク、リップ	チークの位置、色のバランス リップラインの手順
8	チェンジテクニック	ポイントメイクチェンジの仕方
9	フルメイク	相モデル 肌に刺激を与えない作業 色のバランスを考えながら作業をする
10	フルメイク	眉の描き方(3種)
11	フルメイク	フルメイクからメイクチェンジ (シャドウ、チーク、リップ)
12	フルメイク	ブライダルメイク (ドレスに合わせてメイクする)
13	フルメイク	グレー系(ラメパール)
14	フルメイク	ポルドー系(ラメパール)
15	フルメイク	テーマに合わせてデザインする

回	テ ー マ	内 容		
16	フルメイク	付けまつ毛のつけ方		
17	フルメイク	相プチによる二重の作り方		
18	特殊メイク	傷メイク		
19～ 20	特殊メイク	舞台メイク、撮影メイク		
21～ 22	特殊メイク	アートメイク		
23	特殊メイク	ハロウィンメイク		
24～ 28	フルメイク	撮影用メイク		
29	期末試験	相モデルでフルメイク		
30	期末試験	相モデルでフルメイク		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
メイクアップ 美容技術理論Ⅱ		期末試験 授業態度 課題・レポート	50.0% 40.0% 10.0%	【準備学習】授業 内容を踏まえ道具 の手入れをし、教 科書を読んでおく